

まゆ、を、かみ破りて成蟲となるのである、上にある圖の（イ）は、うどんげの花を示したので、其の左側の（ホ）は、うどんげの花の一つを大きくして見たのだ、又。うどんげの花の横にある（ハ）は此の花の頂きの卵が破れて出た所の、くさかけろう、の子供を大きくした所であります、又其横の（ニ）といふのは夫れが作った、まゆ、であります此のまゆの内から（ロ）を見た様な、くさかけろうが出て、くるので、之れが成蟲であつて、うどんげの花をこしらえたのであります。

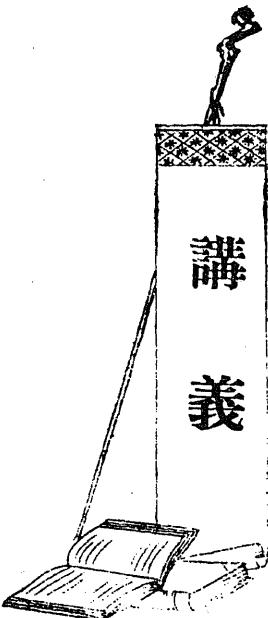
Steiner Tröpfchen höhlt den Stein.

記者申す。本號記事非常に輻湊せしにつき、英語翻譯解は掲載するを得ず。讀者、乞ふ諒せよ。

そこで極く幼い時分から、段々に發達して行きます順序を追ふて、發達の順序を研究すると云ふ方法を執つて考へますならば、孰れの家庭に於ても兒童の發達史と作つて置くが宜い、これも母親が自分の家で私に書留めて置くものと、其家の歴史、其子供に取りての親より譲りものとなるべきやうなものと、此二つを書いて置く方が宜いやう

### 兒童研究法（承前）

松本孝一郎講演



である。家の寶ともなるやうな發育史は多少、趣向を加へて多少美術的に出來て居ても宜いやうである。一の子供が生れてから小學校に行きます頃までのものを書き記す小さい書物があれば餘程面白い。それで、此次の會の時には一のお手本を御目にかける積りでありますか私の知つて居る帳簿に就て申すと、子供が生るゝと云ふ第一日の所に於きをして何時何十分に生れたと云ふ事を記しますやうな所には段々これから日出になつて來る朝の景色の奇麗な畫を書いてある。其下に何時に生れたと書いてあるは美術的で趣向が面白い。詰り朝の日の出のやうな勢ひを以て子供が生れて來、將來段々發育して來る所を祝つてある心持である。

其次位に於ては、其子供に名前を付ける所、即

ち誰にどう云ふ名前を付けて貰ふたと云ふ一頁が必要である、これも其子供の一生の内大事な事柄である。其他初めて身體の自方などを量ります所、此等も其の所の傍らに實に愛らしき生れたての子供が一のハンケチのやうなものに包まれて權衡の傍らにをかれた繪がある。即ち子供のまだ學校へも行かぬやうな者に自分の目方の事を書いてある所であると云ふ事が一見して判るやうな繪を書いてある。其他子供に取りて初めての御祝ひとしてはさう云ふものを貰ふたか、瓶具の上では初めてさういふ瓶具を貰ふたか、或は又初めて幼稚園に行きましたは何時からである兄弟などが連合して幼稚園に行く所の奇麗な繪を入れて置くと云ふやうな事は最も面白い。或は這い初めたは何時頃からであるか。現に私の見て居る記録にすべきも

の、中にも極く可愛い子供が床の上に寝て居り、さうして手を広げ、足を投げて自分の前に居る猫の所に非常の宜い勢ひを以て行かゞとして居る繪がある。さう云ふ子供の内でも一生の出来事と見るべきものを文字の讀めぬ子供にも一目して判る繪を添へて一の記録が出來て居るやうな風に計畫するは餘程面白い。

も一一方は母親の手控へとでも云ふべきものであつて普通の記録を致します所の帳面のやうなものである。これも一頁を一日の記録中に費すやうに考へて置いて宜いと思ふ。一年間三百六十五頁あれば出来ます。これも家によつては常用日記など用ひて居る家ならば其中の一部を子供の發育の事に充てゝ置いても宜いであります。初めの内は記事が少ないものであるから、一頁の内でも書く

事は僅かであるけれども、これは矢張一頁を一日分として用ふるが餘程宜しいやうであります、さうして其記録を附けますに當りますても大凡母親たる人々の注意すべき項目と云ふものがあります。今其項目の極く大體を此處に擧げて見ますと重にも子供の初めの内は身體の方に關係した所の項目が一番必要であります。精神上の事は至つて大凡ドレ位の項目に注意すべきかを知れば漏らす事がないが、左もなければ大事な事でも漏すことの憂ひがある。それを漏さぬには條目になつて舉つて居る方が都合が宜いやうに考へらるゝ。其條目は

第一は衣服の事。これは衣服と申ますが其内で

着物の質はドウ云ふ質のものを着せるとか、ドレ位に餘計着せるとか、少なく着せるとか、其他履物とか靴とか、帽子であるとか云ふものも衣服と云ふ内に含めまして、さう云ふ事の記録を漏さぬやうにせねばならぬ。

第二には身體に就ての注意。此内に於ては勿論目とか耳とか鼻とか歯、爪、皮膚、毛、腹、足それ等の點に就て、何か異常がないかどうか、或は发育上特に注意すべき事柄が無いかとか、注意すべき事を書記さればならぬ。又、子供に湯を使はずには幾らの温度にしたとか云ふ事も此内に入れねばならぬ。

第三には子供に與ふる食物の事。此食物に就ても食べなす品物の性質、例へばドレ位煮たとか、ドレ位炙いたとか、ドレ位な温度にしたとか、ド

レ位の分量にするとか、一日に何ば與へるとか、少しく大くなれば其子供の好き嫌ひと云ふやうな事、又嫌ひな物に向つてはドウ云ふ取扱すべきであるとか、現在ドウ云ふ取扱をしたとか、學校に持たして遣る辨當はドウ云ふ風に注意するとか云ふ事は何時でも自分に實際子供に向つて居る所、自分もそれに就て子供がドウ云ふやうにあつたとか云ふ経験、それ等を漏す所なく書記さればならぬ、此等は何れも母親が寄集る時の一つの問題になり、家庭に向つて注意を與ふる研究の問題となるものであります。

第四ヶ條は睡眠と云ふ事。眠りの事に就てもそれは主もに其子供と一所に居る所の人でなければ判りませぬ事であります但ドレ位の時間を眠つて居るとか、睡眠中は極く穩かに寝て居るやうな状

態であるとか、歎息しりするとか、寝言を云ふとか、たび々夜起きるやうな事がありはせぬか、若しさう云ふ事があれば、其原因はドウ云ふ所に在るであらうか、重にもさう云ふやうな有様は神經系統の大抵衰弱から起つて来て居ります、餘り精神や身體を度を過ごして疲らしめた所からさう云ふ事が起るものであるから、其内の何の原因から安眠が出来ぬやうな有様になつたであらうと云ふ事を自分に推測してさうして書いて置く。又睡眠と食物の關係は如何、ドウ云ふ食物を與へた時は能く睡眠したとか、ドウ云ふ食物を與へた時はドウでありたと云ふ事に氣を着けねばならぬ。子供の働いた事と遊んだ事の度合に就て眠りの方に影響を與ふるものである。其等の注意も書かねばならぬ。

第五は運動と云ふ事。これも男女の子供に依りましてそれ／＼ドウ云ふやうに違ふか。種々天然的の違ひと又其家々の仕附け方に依つて運動の仕方が違ふ。これもドウ云ふやうに運動ですか、ドウ云ふ場所で運動ですか、ドウ云ふ時を撰びて運動するすかと云ふやうな事を書いて置く。

第六は悪習慣と云ふものを書いて置くこと。訥るとか指を噛むとか、身體を振り動かすとか、顔をしかめる事、それから呼吸をするに鼻で重もに呼吸をするは宣い習慣であるが口から呼吸をするは一の惡習慣である。かゝる類のものが澤山ある。若しそれが子供に付けばさう云々惡習慣の起つた原因に注意し母親の注意から治す事が出来たならば其方法も書いて置くが必要である。

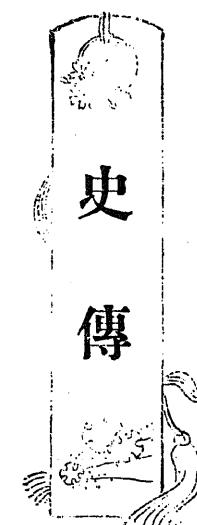
第七は發育の時期。男女に依て發育して行く時

期が違ひます。發育して行く度合が違ひます。年齢に依つても發育が違ひ、身體も何の部分から早く發育する事も云ふ事もありますから發育の時期と云ふ事を注意せねばならぬ。

第八には家庭及び學校の衛生上の設備、これは例へば空氣がドウであるとか、光線がドウであるとか云ふ類の事であります。隨分斯う云ふ風の不完全な所から子供の病を惹起すやうな事がゐる、學校及び自分の家はどう云ふ所が不完全であると云ふ事を注意して置けば子供の病氣に關して参考になる事もあり、豫じめ病氣を防ぐ事も出来るであります。

さう云ふ、事柄に注意を致しまして其等の事件は必ず子供の發達史の内に書いて置くやうにする。母親たる者は自分が現に認めた事をば記して

他の人の言つた事を直ぐに信用を置くは宜しくない事で、自ら確めなければ書かぬようにする。只今御話をしたやうにして置けば其子供は普通の子供より強壯であるとか、虛弱であるとか云ふ事の判断も出来、子供が幾人もあれば前の子供と今度の子供と幾ら違ふと云ふ事の参考にもなるものである。又其やうに爲す所あら種々の同情とか、興味とか、熱心とか云ふものも起つて来る。  
發達史は此頃は見へるやうである、教育の方の雑誌であるとか、或は兒童研究などに、種々の事の方針を御書きになつたものがたび々出て居りますから其等も隨分實際の例となる。又昔から傳はつて居りますのはテーデマンと云ふ人の兒童シンとかムーアと云ふ教育のある婦人のやつたも



## 史 傳

### ヴィクトリア女皇の傳(つゞき)

鄭 越 生 補譯

のもあります。英語の御判りの方はさう云ふ女の人が、現にやつて居る發達史を参考する事も出来此外にブライエルと云ふ人の子供の心と云ふものも出来て居り、英譯にもなづて居り、日本譯にもなつて居る、それでも大凡やり方が判る又もう少し細かに進みましてこれから其日誌の中に書き込む事をもうして調べて行くかと云ふ事を考へねばならぬ。(つゞく)

ふかき淵うすき氷の誠を  
こころにかけぬ人ぞ危ふき

母君ケント公爵夫人には、女皇の御健康につきて、ひたすら御心配あそばし、しばしく諸方に御轉地なさいました、此の頃折々御出でになりましたのは、ラムスゲートとマルヴァエルンとでござります、勿論此の二個所は氣候が誠に溫和でありますので、よく女皇の御健康に相應したのでござります。

そのマルヴァエルンに御滞在の折の事でございま